



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより

1月号

令和6年1月9日(火)

令和6年も よろしくお願ひします

校長 倉本 恵

横浜の令和6年の初日は、真っ青な空に昇ってきました。風は多少ありましたが寒さも厳しくなく「何となく 今年はいい事 あるごとし 元日の朝 晴れて風無し」という石川啄木の短歌を思い浮かべながら、自宅のベランダで晴れやかな気分で見えていました。(私の昨年のお正月は母の葬儀から1か月たっていなかったもので、寿ぐという気分ではありませんでした。ですので、今年の輝く初日の出は格別に思えたのです)

まさかそう思った日の夕方に能登半島地震がおきるとは、夢にも思いませんでした。テレビ画面には、地震や津波の速報が流れ続け、現地の様子に心を痛めるお正月となりました。被災された方々やご関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和6年最初の学校だよりの中面は、12月1日、2日に行われた「丸小フェスタ」の特集です。昨年度までと異なるのは「食の学び」にこだわらず、生活科や総合的な学習の時間での学びの中で、伝えたい内容を各学年や学級の実態に合わせて、柔軟に決める形にした点です。平成18年度に始まった「食の学び」とは何かははっきりしないまま引き継がれていて、校長として現状に合っているのかいないのかを判断しかね、私は関係機関や関係した方々に相談を続けていました。

そして丸小フェスタ当日。なんと「食の学び」を始めた時の本校校長である沼尾実先生がいらしてくださったのです。フェスタを参観された後、当時の資料をまとめたものを手に、次のことを私に話してくださいました。

『自然と人との出会いを大切にし、自分とみんなの「食」を考える力と、「食」の生産・加工や流通等に関わる人たちの思いを受け止める力を育むことが「食の学び」の目指すところです。食に関わる全ての人たちとの学び合いです。「食の学び」を通して、人間は生き物を様々な利用していることも理解していきます。だから、～をやらなければ、と思ひ詰める必要はないのですよ。』

沼尾先生の言葉に、目の前の霧が晴れました。フェスタの発表内容が食の学びとは異なる内容の学年も、年間のカリキュラムの中では、様々な形で取り組んでいます。今後はどの教科等でどのように力を育んでいくかを全職員と共に明確にして、令和の食の学びを紡いでいく示唆をいただけたと感じています。

さて、今月は全国的に「給食週間」が設定されており、1月の横浜市学校給食献立予定表の食に関する指導のねらいには「自然の恵みと勤労の大切さを知り、感謝の気持ちをもって食事ができる」とあります。

また、栄養職員が作成した教室掲示用の1月献立表には、右のような表記があり、これもまた「食の学び」でめざすところに繋がります。給食週間のある1月には特に意識し、年間を通し、ご家庭や地域とも連携して食の学びに取り組んでいきたいと思った年の始めです。

月	火
<b>かんしゃのきもちをもってしょくじをしよう</b>	
<p>みなさんがまいにち たべている しょくじには、 たべものをつくるひとや、よくやきかな、ゆさいなどまいるばで うるひと、それをはこぶひと、ちょうりをするひとなど、 たくさんのひとがかかわっています。 かんしゃの きもちを もってたべましょう。</p>	

### 冬休み明けの登校見守りについて

1月9日(火)から12日(金)までは集団登校、15日(月)からは各自での登校となります。

9日から18日までの期間はPTA 校外委員さんを中心とした保護者の方々と職員で分担して登校の見守り活動を行います。

年間を通して学区内2か所の交差点で見守り活動をしてくださっている長寿会の方々にも感謝しつつ、安全に気を付けて登校してください。